

5 火災種別ごとの状況

平成 23 年中に発生した火災について、発生件数の多い種別順にみていく。

(1) 建物火災～住宅の火災が 6.5 割～

建物火災 60 件のうち、住宅（一般住宅、共同住宅及び併用住宅）火災は、39 件で、建物火災の 65.0% を占めている。

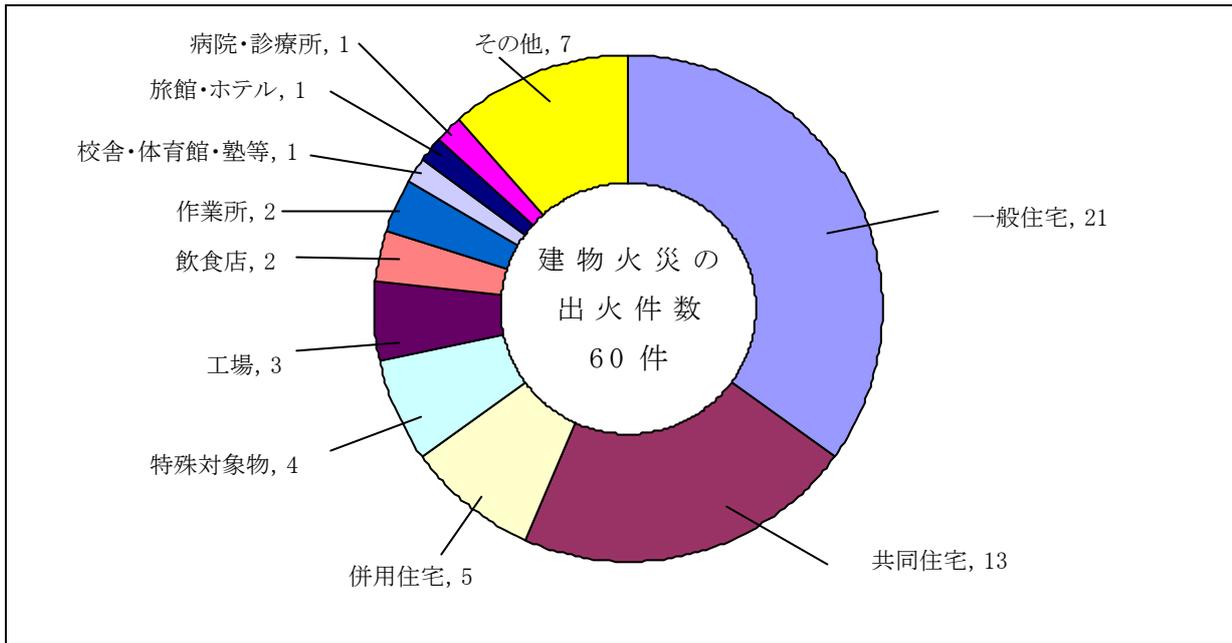
住宅火災の内訳は、一般住宅が 21 件と最も多く、次いで、共同住宅が 13 件、併用住宅が 5 件となっている。

最近 5 年間の建物火災の状況は表 5-1-1 に、建物火災の火元建物用途別状況は図 5-1-1 に示すとおりである。

表 5-1-1 最近 5 年間の建物火災の状況

平成	全出火 件数 (件)	建物火 災件数 (件)	割合 (%)	損害額 (千円)	死者 (人)	負傷者 (人)
19	135	62	45.9	125,415	2	15
20	117	54	46.1	156,864	2	12
21	125	61	48.8	169,083	3	15
22	103	54	52.4	105,382	1	5
23	114	60	52.6	139,534	3	15

図 5-1-1 建物火災の火元建物用途別の状況



平成 23 年中の建物火災を、火元建物の構造別にみると、木造建築物が 25 件と最も多く、建物火災の 41.7% を占めている。火元建物の火災 1 件当たりの焼損床面積をみると、本年中は、飲食店や工場で大規模な火災があったことなどから、準耐火建築物（非木造）や耐火建築物の 1 件当たり焼損床面積が広がっている。

火元建物の構造別損害状況は、表 5-1-2 に示すとおりである。

表 5-1-2 火元建物の構造別損害状況

構 造 別	出 火 件 数 (件)	延 焼 率 (%)	延 焼 件 数 (件)	1 件 当 たり 焼 損 床 面 積 (㎡)
木造建築物	25	28.0	7	22.8
防火構造建築物	6	0	0	0
準耐火建築物(木造)	0	0	0	0
準耐火建築物(非木造)	5	0	0	56.0
耐火建築物	19	0	0	30.8
その他の建築物	5	0	0	6.0
建物火災全体	60	11.7	7	24.4

(備考) 1 延焼件数は、火元建物以外の別棟に延焼した件数。

2 延焼率は、火元建物から別棟に延焼した件数の割合。

(2) その他の火災～38件中、放火が20件～

その他の火災とは、「建物」、「車両」、「林野」、「航空機」、「船舶」に該当しない火災を指す。主に田畑や空地で枯草が燃えたものや、屋外において物品のみが燃えたものが該当するが、建物に付属する物であっても、広告塔、クーリングタワー、アンテナ等は「その他の火災」にするなど、消防独自の基準がある。

最近5年間のその他の火災の状況は、表5-2-1に示すとおりである。

表 5-2-1 最近5年間のその他の火災の状況

平成	全出火件数 (件)	その他の火災件数 (件)	割合 (%)	損害額 (千円)	死者 (人)	負傷者 (人)
19	135	58	43.0	2,480	1	1
20	117	43	36.8	241,481	0	1
21	125	50	40.0	2,967	3	0
22	103	32	31.1	69	0	0
23	114	38	33.3	414	0	0

出火箇所は、「敷地内」が10件と最も多く、26.3%を占め、次いで、「田畑」が7件(18.4%)、「公園」及び「河川敷」がそれぞれ4件(10.5%)の順となっている。

更に着火物別で見ると、「枯草等」が16件と最も多く、42.1%を占め、次いで、「その他のもの」6件(15.8%)、「ごみ類」が5件(13.1%)の順となっている。

出火原因は「放火」が最も多く20件で、20時から翌2時までの夜間に5割発生している。

(3) 車両火災～焼損台数18台～

車両火災は交通事故により発生した3件を含み、内1件は事故が原因による死者が1名発生しているが、火災による死傷者は発生していない。

焼損台数は18台で、内訳は乗用車4台、貨物車8台、特殊車3台、二輪車3台となっている。

最近5年間の車両火災の状況は、表5-3-1に示すとおりである。

表 5-3-1 最近 5 年間の車両火災の状況

平成	全出火 件数 (件)	車両火災 件数 (件)	割合 (%)	損害額 (千円)	死者 (人)	負傷者 (人)
19	135	11	8.1	4,156	0	1
20	117	17	14.5	5,077	0	0
21	125	12	9.6	938	0	0
22	103	15	14.6	3,610	1	0
23	114	15	13.2	2,797	0	0

平成 23 年中の車両火災の出火時の状況をみると、「走行中」が 9 件、「駐車中」が 6 件となっている。

走行中に出火した 9 件の出火原因をみると、「排気管」が 3 件、「摩擦によるもの」が 1 件、「その他」が 5 件となっている。

駐車中に出火した 6 件の出火原因をみると、「放火」が 5 件、「電気機器」が 1 件となっている。

(4) 林野火災～平成 23 年中は 1 件～

林野火災の出火原因は、溶接・溶断機から火花が飛び、枯草に着火したものである。

過去 5 年間の林野火災の状況は、表 5-4-1 に示すとおりである。

表 5-4-1 過去 5 年間の林野火災の状況

平成	全出火 件数 (件)	林野火災 件数 (件)	割合 (%)	損害額 (千円)	死者 (人)	負傷者 (人)
19	135	4	3.0	0	0	0
20	117	3	2.6	0	0	0
21	125	2	1.6	0	0	1
22	103	2	1.9	0	0	1
23	114	1	0.9	0	0	0